



GAPがつなぐ家畜生産の現場と社会

趣 旨：畜産を含む農業生産の現場は、安全な食品の供給、安定的な雇用、周囲の環境保全など、様々な形で社会とつながることで成り立っています。GAPは「農業生産工程管理」ともいわれ、農林水産省によれば、「農産物を作る際に適正な手順やモノの管理を行い、食品安全や労働安全、環境保全等を確保する取組」と言い換えることもできます。農家がGAPを実施するととまらず、その認証を受けることは、農業生産の現場が外から見える形で社会とつながることであり、様々な意義があると考えられます。

本セミナーでは、乳牛、肉牛、肉豚が飼養されている宮崎大学農場でGAPの認証取得にご尽力された真先生と、GAPの普及にご活躍中の東山先生とをお迎えして、ご講演をいただき、GAPの畜産農家および社会にとっての意義をさらに掘り下げて考えるとともに、その普及に向けた活動について、議論を深めます。



日時

2019年12月17日(火)
14:00-17:00 (受付13:30-)

会場

岡山大学農学部3号館4階多目的室
(岡山市北区津島中1-1-1)



プログラム

13:30-14:00 受付

14:00 あいさつ

14:10 講演1「GAPの取り組みと認証取得 ～社会的なGAPの意義」

広島大学 大学院生物圏科学研究科 食料生産管理学研究室 東山 善一 氏

15:10 講演2「宮崎大学牧場におけるGAPの取り組み」

宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター 住吉フィールド(牧場) 教務補佐員 真 智代 氏

16:10-16:20 休憩

16:20 総合討論

司会：農林水産省産学連携支援コーディネーター

黒川 勇三 氏 (広島大学大学院統合生命科学研究所 准教授)

舟橋 弘晃 氏 (岡山大学大学院環境生命科学研究所 教授)

17:00 閉会

17:00-17:30 個別相談 (マッチング、競争的研究資金等)

主 催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室、NPO法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (略称：中四国アグリテック)

後 援：公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

<問合せ・申し込み先>欄下に必要事項を記入の上、12月6日(金)までに中四国アグリテック事務局へFAXかメールにて申込み下さい。

特定非営利活動法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (略称：NPO法人中四国アグリテック)

tel：086-237-3340 fax：086-201-0551 E-mail：agri@key.ocn.ne.jp https://www.agritech2007.jp/

申込先着順で定員80名になり次第締め切らせて頂きます。ご提出頂いた個人情報、本セミナーに係ること以外には使用いたしません。

お名前	電話番号/FAX番号
ご所属	※個別相談 希望する ・ 希望しない